



国際ロータリー第2750地区
東京多摩グリーンロータリークラブ

2023-2024 年度

会報

会員増強、親睦



2024. 05. 15 第1495回 例会 No. 36-31 2024. 05. 22 発行

【司会】 SAA・親睦委員会 峯岸 忠

◎次年度会務報告

会長エレクト 初野 有人

特にございません

◎開会点鐘 会長 福岡 均

【 委員会報告・その他 】

◎国歌「君が代」・

ロータリーソング「我らの生業」 斉唱
ソングリーダー 菊池 敏

◎四つのテスト SAA・親睦委員会 峯岸 忠

◎お客様紹介

米山奨学生 たにくち 谷口 ナタリア あい か 愛香 様
医療法人社団めぐみ会 渉外部 秘書 たかはし 高橋 ちひろ 千尋 様

◎谷口ナタリア愛香様ご挨拶

はじめまして、ブラジル出身の谷口ナタリア愛香です。
都立大の学生で博士課程3年生です。ポルトガル語と日本語の比較言語を研究しています。日本は5年目です。
よろしくお願いいたします。

◎会務報告 会長 福岡 均

- ・来週は多摩市長の卓話がございます
- ・25-28日、国際大会に出席するためシンガポールに行きます
- ・29日の夜例会は休会といたします

◎幹事報告 幹事 三田 みよ子

配布物

- ・卓話資料
- ・ロータリーの友 5月号
- ・会報 第1494回

回覧物

- ・財団室NEWS 5月号
- ・バギオだより 5月号
- ・ハイライトよねやま 5月号

※ 他クラブ例会変更は事務局までお問い合わせ下さい

◎各委員会報告

ロータリー研修委員会 杉山委員長より
本日、例会後にロータリー研修会を開催します。
関係の方はよろしくお願いします。

◎出席報告

出席奨励委員会 伊澤 ケイ子

会員総数 19名 出席義務免除者 5名
出席者数 出席義務者 10名 免除者 2名
計 12名 出席率 12/19 80.00%

◎ニコニコBOX SAA・親睦委員会 菊池 敏

福岡 均 田村会員 卓話宜しく申し上げます
谷口ナタリア愛香さん ようこそいらっしゃいました！
三田みよ子 ナタリアさんようこそ！！
田村先生 卓話宜しく申し上げます
杉山 真一 田村会員 卓話よろしく申し上げます
昨日人間ドックでした
峯岸 忠 毎日がたいへんです 特に草取りが！！
守田 亨 谷口ナタリア愛香様
ようこそお越しくださいました
伊澤ケイ子 田村先生 卓話楽しみです
谷口ナタリアアイカ様ようこそ
森本 由美 田村さま お久しぶりです
卓話よろしくお願い致します
馬場賢太郎 田村会員 卓話楽しみにしております
実は初めましてです よろしく願いいたします
菊池 敏 田村先生 卓話楽しみです
谷口ナタリア愛香様 ようこそ！

※ 他、先日のお茶の代金(550円)

本日の合計 ￥13,550円 (累計550,953円)

【 卓 話 】

◎田村 豊 会員 卓話

演題：大型診療所の意義と将来性について



今、実はコロナは流行ってます。

4月に厚生労働省に出向いて大型診療所の意義と将来性について話してきました。診療所に勤める医者がどんどん増えている、やがて複数の医師を抱える診療所が増えてくる。病院の在り方、診療所の在り方について厚生労働省も本気で検討し始めている。私の診療所には感染症室があり、多摩市で発生したコロナ患者の17%を診療してきた。さらに被災地支援もしている。マイナンバーカード保険証を推奨する取り組みもしている。今後の診療所の未来のモデルになることをアピールしてきた。多摩市は東京都で一番コロナワクチンの接種率が高い、それは当診療所が4番目のワクチン接種会場として活動した要因も大きい。訪問診療、開業医からは患者を盗んでいくけしからんという意見もあったが、コロナをきっかけに訪問診療所も存在感を示せた。東日本大震災の被災地支援、大津波で東北の海岸沿いの街が大変なことになっていた、停電になって病院も診療ができない、計画停電で東京にいて仕事ができないと不満を言ってる時じゃないと思い、動ける人は現地に行こう、助けに行かなきゃいけないと思ったし、とにかく医者がない薬がない、俺は医者だ、じゃあ行こうと思い、30人でチームを組んで現地に行った。東北自動車道も完全に停止、色々な人が救援物資を持って現地に行った、戦場にいるような気分で現地に入った、東北の街ってのは多摩と

同じ、そういう街が壊滅してる、住んでるのも同じ日本人、田村クリニックにも東北の人が働いている。家族が無事だった人は家が亡くなっても元気、家族を失った人は元気がない。避難所に残ってるのは高齢者だけ。「補聴器が使えなくなった、どうすればいいですか？」みたいな医療じゃない相談も現地で受けた。泥は乾燥すると呼吸器系の病気が悪くなるので、皆で掃除もした。熊本地震の時は現場ではなく災害対策本部で色々なことをした。大型診療所は色々な専門の医者が集まっているので、自分の専門以外の患者さんも診れる、患者さんにとっても医者から見ても安心だと思う。医者の偏在、団地の中で長年やってた先生が廃業して、百草団地、愛宕団地、お年寄りが歩いて駅まで行けない、通院できない。これが今、多摩市の中でも問題になっている。訪問診療が活躍できるが、法令の上ではなかなか難しい問題もある。このような話を厚生労働省にきてきて、今後、大型診療所を育ててほしいと伝えてきた。



◎お礼と閉会点鐘

会長 福岡 均

(今週の担当：福岡 均)

